

# 本号掲載要旨

## 隠岐島周辺海域のばいかご漁業における エッチュウバイ資源管理

道根 淳, 為石起司, 村山達朗

隠岐島周辺海域におけるエッチュウバイの資源管理を行うため、漁業実態、漁獲動向を調査し、ばいかご漁業の実態解析を行った。その結果、1980年代以降、本種の資源状態は低水準、横這い傾向にあり、近年、中・小型貝を中心に漁獲している。漁獲物は2~9歳貝が漁獲され、全漁獲物の32%が未成貝であった。本資源は漁業開始当初に比べ、資源水準が大きく低下しており、将来的に本資源を有効利用するためには漁業管理が必要である。管理方策として、かご網目合拡大による小型貝保護、銘柄規格化による魚価対策を提案した。

島水試研報, No.10, 1 - 9 (2002)

## 養殖ヒラメに及ぼす過酸化脂質の影響

井岡 久・大島敏明

生餌、ドライペレット、モイストペレットで飼育した養殖ヒラメの血漿、血球、肝臓組織の総脂質中の過酸化脂質 (Phosphatidilcholine Hydroperoxides : PC-HPO) 含量を天然魚を対照として定量した。ドライペレットで飼育したヒラメの血漿中におけるPC-HPOの水準は、生餌魚、モイスト魚、天然魚と比較して高かった。養殖魚におけるエドワジェラ症について、*E.tarda* に感染したヒラメ肝臓組織中のPC-HPO含量を非感染魚と比較した。*E.tarda* に感染したヒラメの肝臓組織において、PC-HPO含量は非感染魚よりも有意に高かった。(p<0.05) これらの結果はエドワジェラ症に対する予防法を確立する上で重要な示唆を与えるものである。

島水試研報, No.9, 11 - 16 (2002)

## 隠岐海峡におけるアマダイ延縄漁業と アカアマダイの資源評価

安達二郎, 石田建次

島根県平田市佐香地区におけるアマダイ延縄漁業の特徴を紹介するとともに、隠岐海峡におけるアカアマダイ資源を解析した。佐香地区のアマダイ延縄の漁具漁法は、針に「かえり」がなく、餌に魚油を塗りつけることが特徴である。漁獲の最盛期は7-9月で、日の出から9時頃までに釣果が良い。また隠岐海峡におけるアカアマダイの漁獲実績と生残率および年級群の資源

量推定を試み、それらから、本種の資源状態と漁獲努力が健全な関係にあることを示した。

島水試研報, No.9, 17 - 22 (2002)

## 島根県鹿島沿岸におけるカメノテの生態に関する 2, 3の知見

石田健次

島根県鹿島町沿岸の潮間帯岩礁域に群生するカメノテの頭状部、柄部および卵囊などを調べ、頭状部と柄部の関係や幼生が付着生活へ移行する過程などの生態について若干の知見を得た。全長と体重の関係は全長が長くなるにしたがい体重のばらつきが大きく、両者の関係は $W=0.0001 \times L^{2.883}$  (L:全長mm, W:体重g) で表わせる。柄部の長さや重量の関係は頭状部のそれに比べてばらつきが著しく大きく、本種が岩礁の割れ目や窪みで群生するため摂餌や成長などが個体間で妨げとなり、付着した場所により柄部長が変異したためと考えられた。幼生の付着生活移行期は夏季を中心とした7月から10月の間で、水温22°C以上の年間最高期にあると推定された。

島水試研報, No.10, 23 - 26 (2002)

## 島根県水産試験場研究報告

発行年月 平成14年3月

発行所 島根県水産試験場

〒697-0051 島根県浜田市瀬戸ヶ島町25-1

TEL (0855)22-1720(代)

印刷所 有限会社 原印刷

浜田市下府町327-77(石央物流団地内)